

補足説明

1632（寛永9）年頃（第1回検討会議資料）

- 現在の築地エリアはまだ海であった
- 築地エリアは、1657年の明暦の大火によって生じた瓦礫などを使って、「**築**き固めた**土**地」

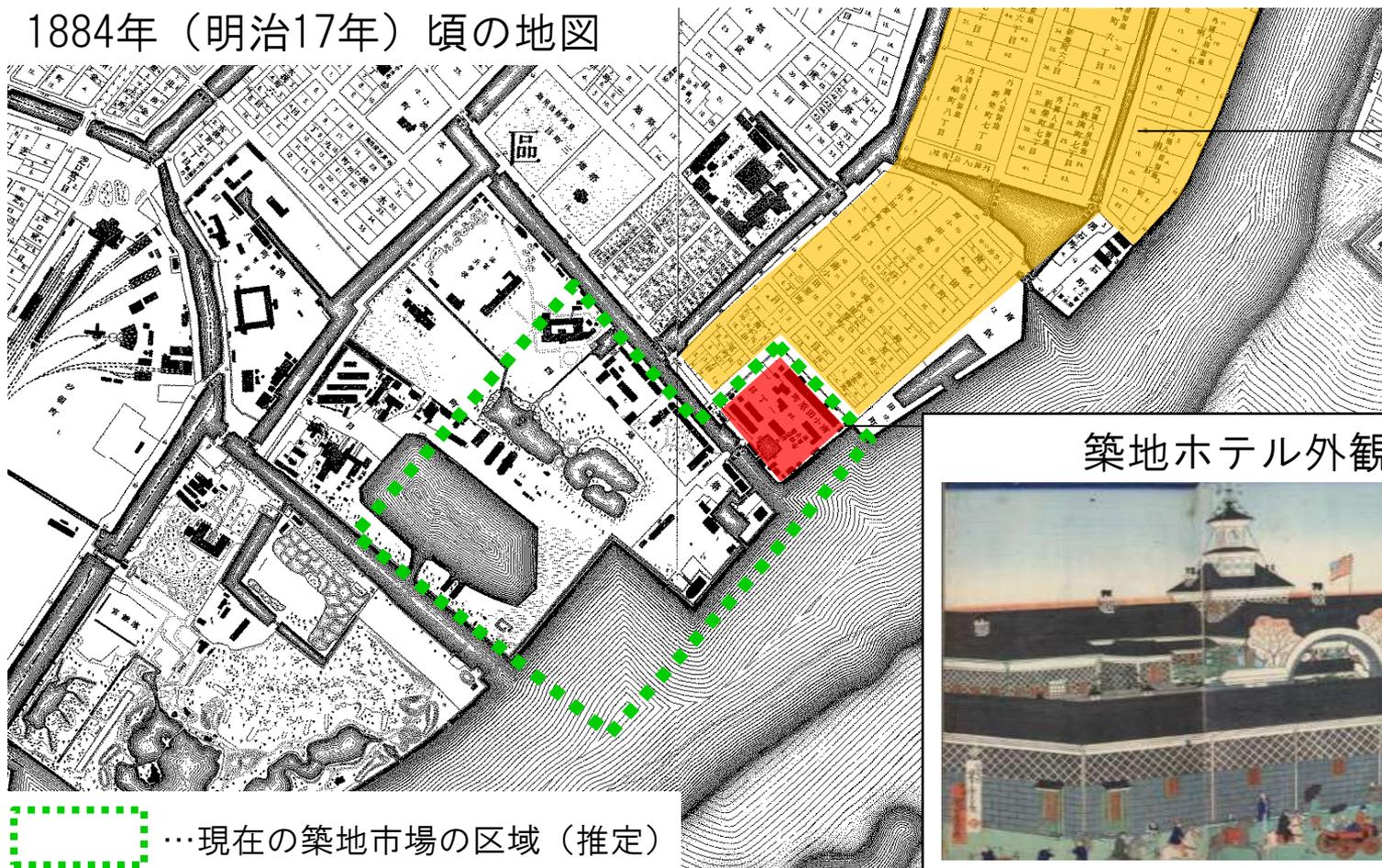
武州豊嶋郡江戸〔庄〕図（寛永9年頃）



1867（慶応3）年～1899（明治32）年頃（第1回検討会議資料）

- 明治以降、外国人居留地(1869-1899)として発展。築地ホテル(1868-1872)も完成
- 各種ミッション系教育機関の発祥の地であるなど、国際的なエリア
- 文化交流・交易交流の場であった

1884年（明治17年）頃の地図



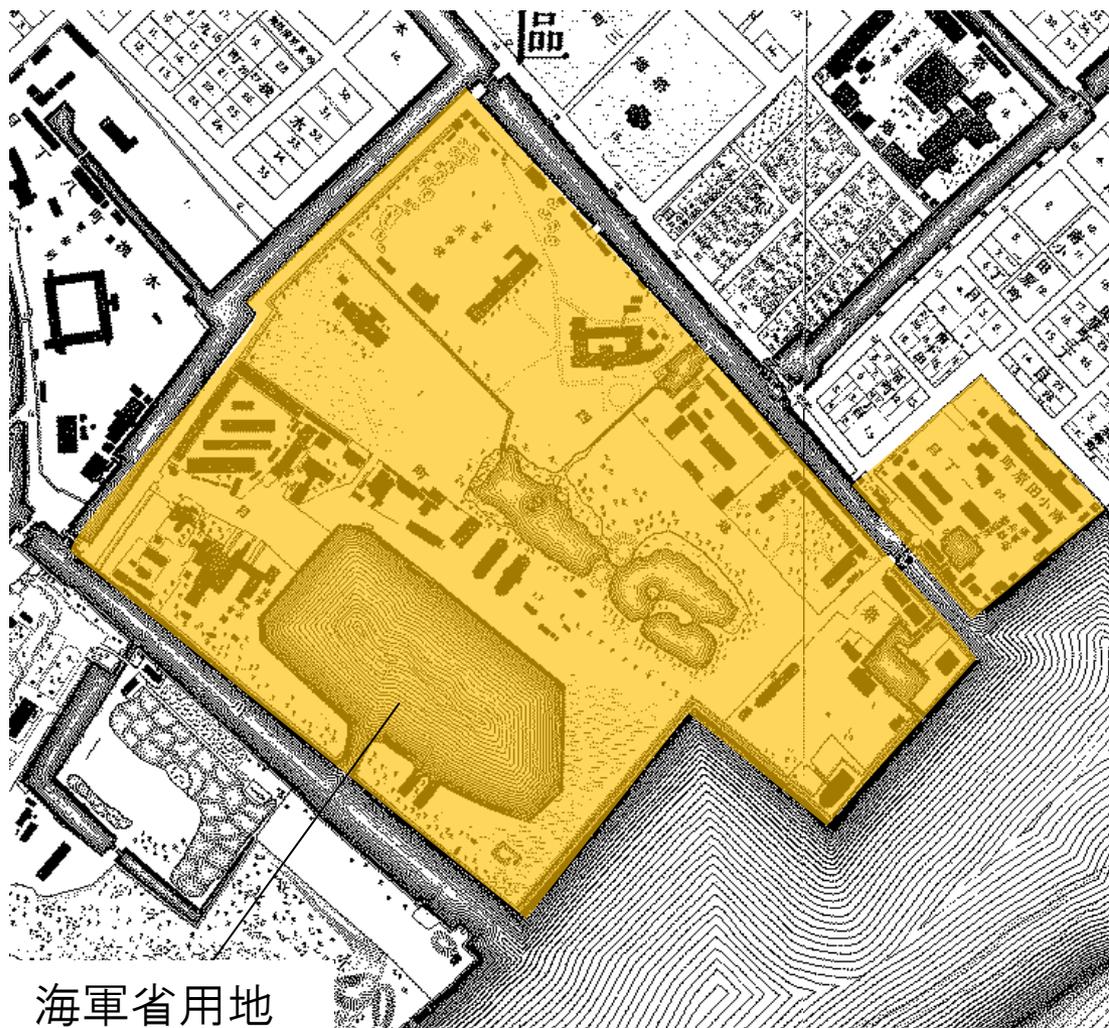
外国人居留地
(現在の明石町)

築地ホテル外観(軍艦操練所跡地)



1872（明治5）年～1932（昭和7）年頃（第1回検討会議資料）

○明治維新後は大名屋敷が明治政府に接收され、海軍関係用地として使用



海軍省用地

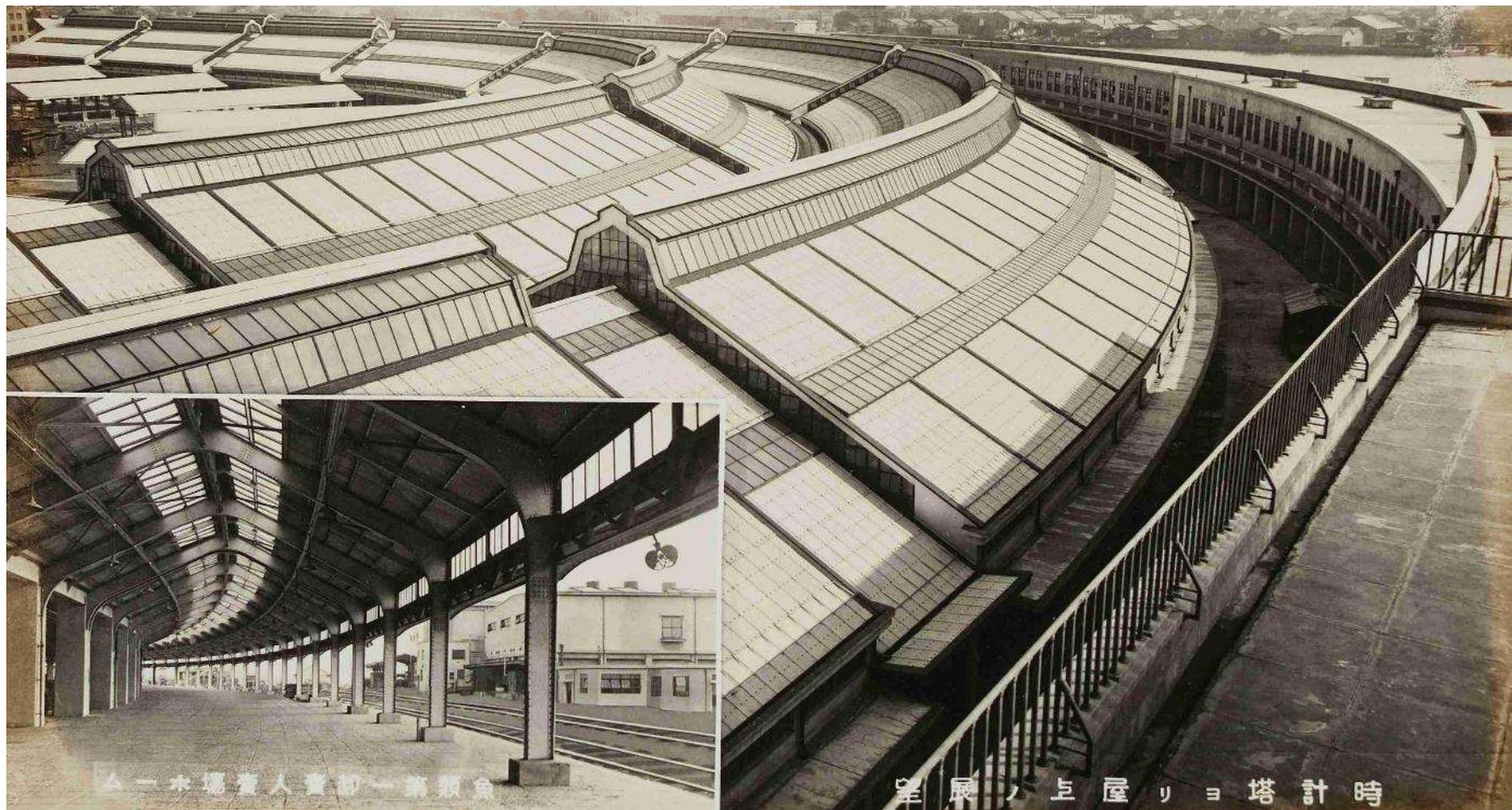
築地海軍省



©中央区立橋土天文館

1923（大正12）年頃～1935（昭和10）年（第1回検討会議資料）

- 関東大震災を機に、日本橋魚河岸から市場機能が移転（築地市場開設：1935年）
- 当時、市場に集まる生鮮食料品は、旧汐留駅から引き込み線を通して貨物で、また、隅田川岸壁の棧橋から船で運ばれていた



年表（第1回検討会議資料）

	江戸	明治	大正	昭和
築地地区関連の動向	<ul style="list-style-type: none"> ●1654 浜御殿（浜離宮）埋め立て ●1657 築地地区埋め立て ●1679 築地本願寺再建 ●1792 浴恩園（1829焼失） 	<ul style="list-style-type: none"> ●1859 軍艦操練所開設 ●1868 築地ホテル開業（1872焼失） ●1869 築地居留地開設（1899廃止） ●1872頃～ 海軍関係用地として使用 	<ul style="list-style-type: none"> ●1923 日本橋魚河岸閉鎖 	<ul style="list-style-type: none"> ●1935 築地市場開場 ●1945 GHQによる一部接收
歴史	<ul style="list-style-type: none"> ●1657 明暦の大火 	<ul style="list-style-type: none"> ●1853 ペリ一艦隊浦賀入港 	<ul style="list-style-type: none"> ●1923 関東大震災 	<ul style="list-style-type: none"> ●1945 終戦

現在の築地市場（第1回検討会議資料）

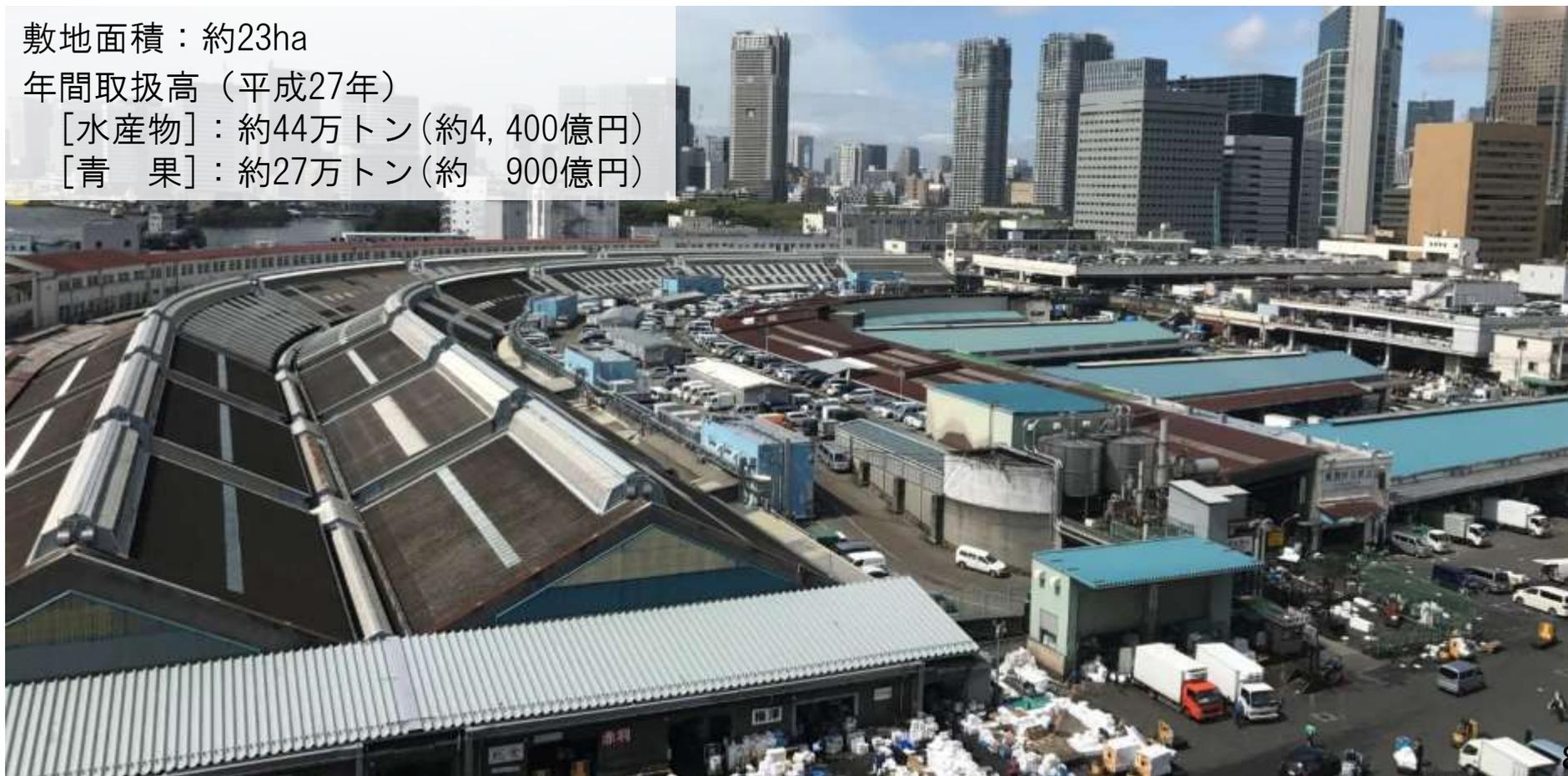
- 都内に11ある東京都中央卸売市場のうち、最も古い歴史を持つ、水産物（約480種類）、青果物（約270種類）を取り扱う総合市場
- その供給圏は、都内だけでなく関東近県に及ぶ
- 特に水産物については世界最大級の取扱規模

敷地面積：約23ha

年間取扱高（平成27年）

[水産物]：約44万トン（約4,400億円）

[青果]：約27万トン（約900億円）



築地場外市場（第1回検討会議資料）

○プロの買い出し人を中心とした業務用のまちであった築地場外市場は、90年代後半より町並みや商習慣に注目が集まり、一般の方も多く訪れるまちになった

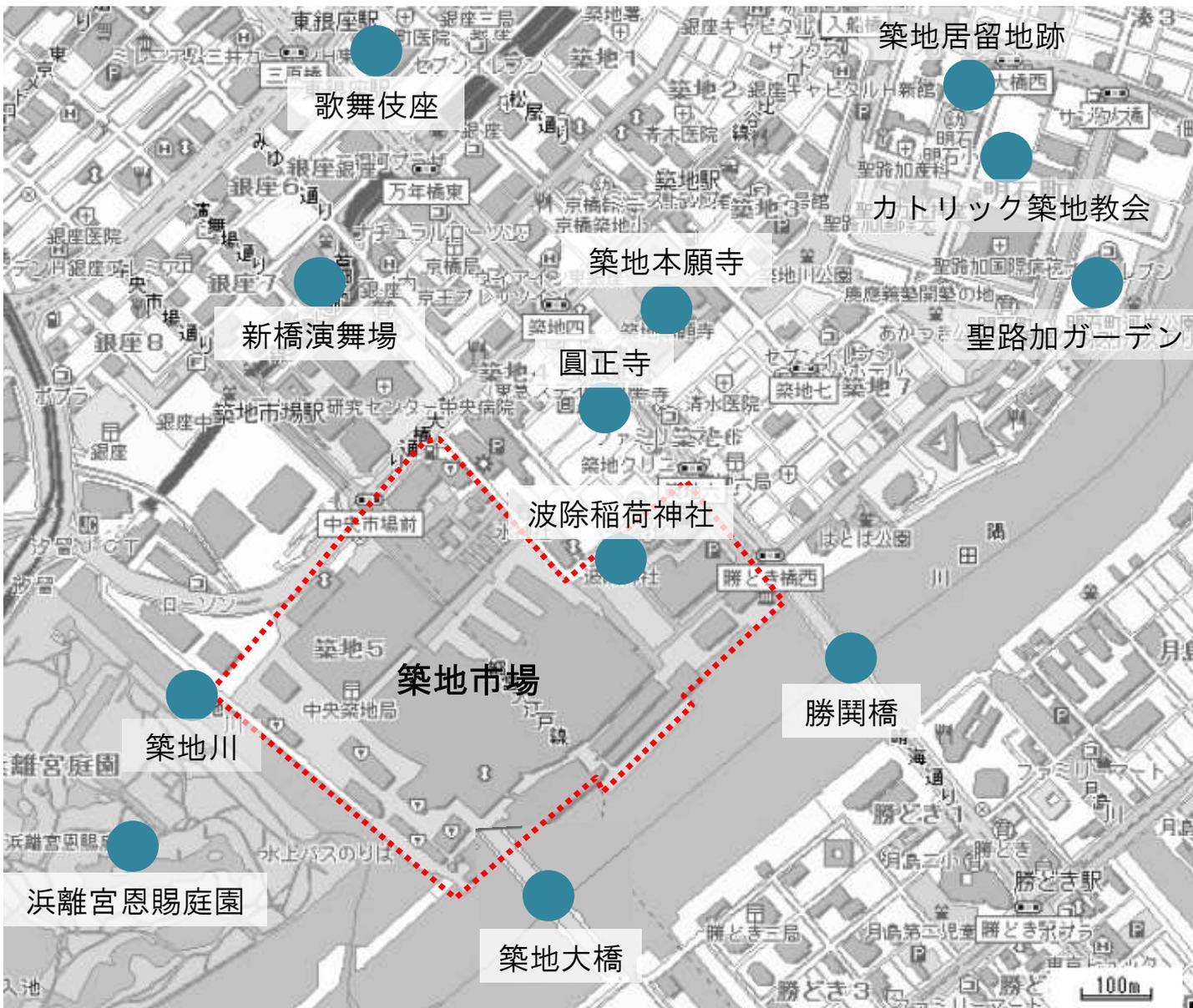


築地魚河岸（第1回検討会議資料）

- 中央区が設置した、仲卸を経営母体とした小売り店約60軒が入居する生鮮市場
- 築地市場移転後も築地の活気と賑わいを将来に向けて継承
- 「食のプロに支持され、一般客・観光客にも親しまれる、食のまち築地のにぎわいの拠点となる施設」を目指す



築地エリアの地域資源（第1回検討会議資料一部修正）



歌舞伎座



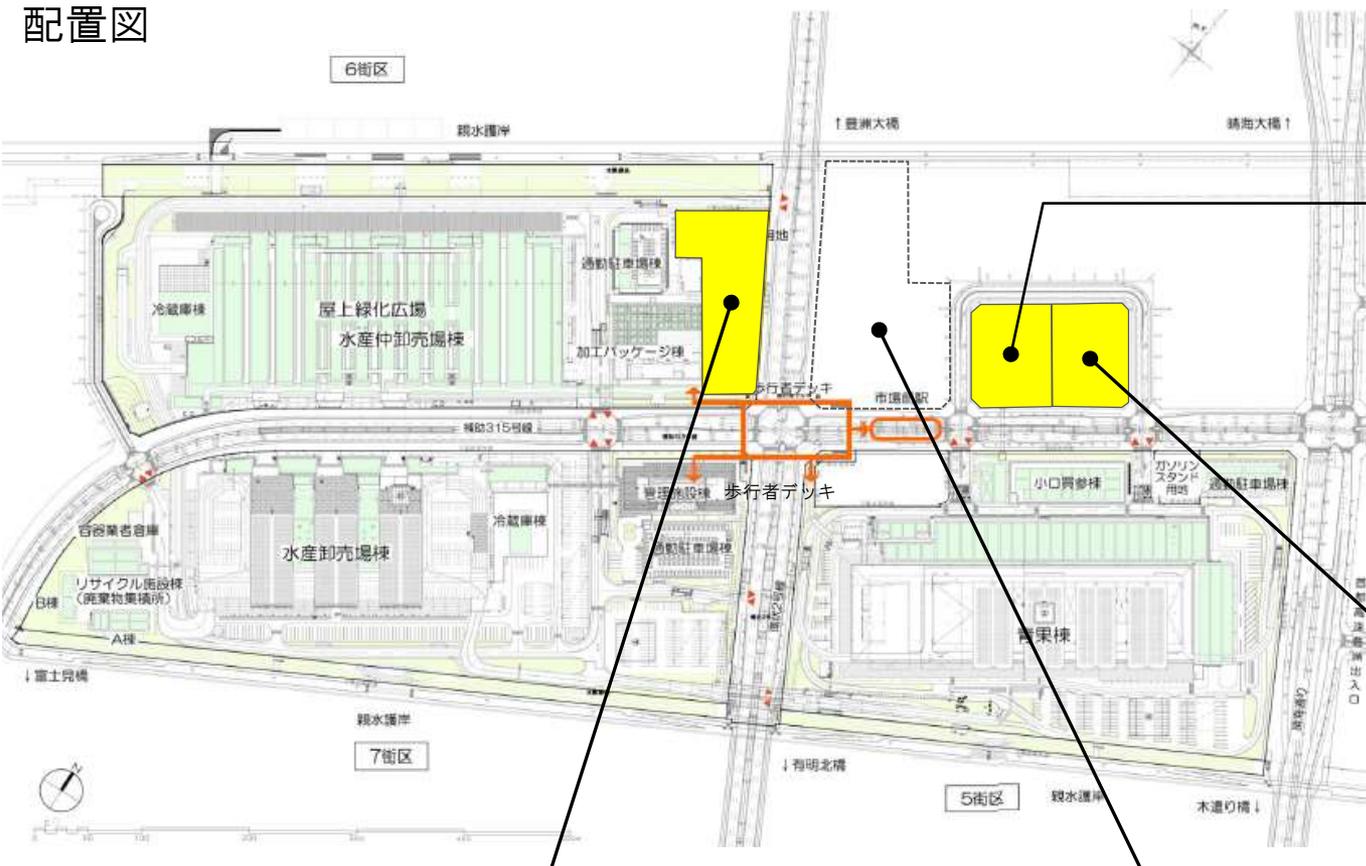
勝鬨橋（国の重要文化財）



築地本願寺（国の重要文化財）

○近隣の開発動向（豊洲市場周辺）

配置図



■ 4-1A街区
敷地面積：7,400m²
しゅん工：2014年
主要用途：地域冷暖房
プラント
まちづくり
PRセンター

■ 4-1B街区
敷地面積：7,420m²
しゅん工：2019年(予定)
主要用途：ホテル
トレーニング施設
医療施設
店舗

■ 6街区（千客万来施設）
敷地面積：10,840m²
整備目的：食の魅力発信など豊洲市場と一体となった
活気やにぎわいの創出
主要用途：飲食・物販店舗、温浴施設・ホテル

■ 4-2, 4-3街区（計画中）
敷地面積：24,470m²（合計）
主要用途：事務所（4-2街区）
ホテル（4-3街区）

○近隣の開発動向（晴海五丁目西地区再開発事業）



大会後の選手村のイメージ（平成28年3月時点）

■事業の概要

施行地区面積：約18ha

事業完了：2024年度

主要用途：住宅（約5,650戸）

商業施設、保育所、老人ホーム



・主な都市開発事業



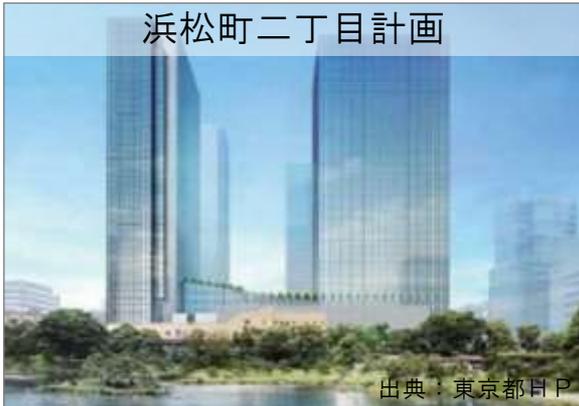
・建物用途



土地利用現況調査(東京都)

○近隣の開発動向（浜松町駅・竹芝駅周辺地区）

浜松町二丁目計画



出典：東京都HP

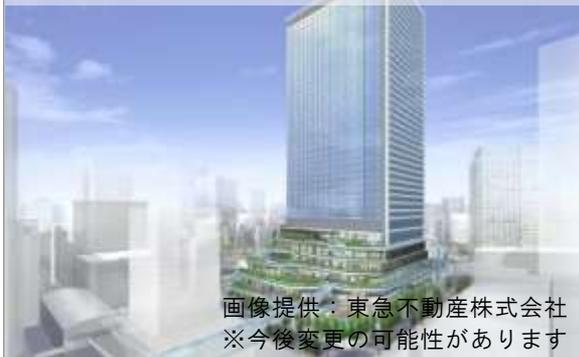
■諸元

敷地面積：約28,650㎡

しゅん工：2027年

主要用途：事務所
商業施設
交流施設

竹芝地区開発計画



画像提供：東急不動産株式会社
※今後変更の可能性があります

■諸元

敷地面積：約15,600㎡

しゅん工：2020年

主要用途：事務所
商業施設
サービスアパートメント

芝浦一丁目計画



出典：内閣府HP

■諸元

敷地面積：約40,000㎡

しゅん工：2029年

主要用途：事務所
商業施設
ホテル



○近隣の開発動向（銀座）

GINZA SIX（銀座六丁目10地区）



■諸元

敷地面積：約9,080㎡
 しゅん工：2017年
 主要用途：商業施設
 事務所
 文化施設

銀座三越（銀座四丁目6地区）



■諸元

敷地面積：約5,430㎡
 しゅん工：2011年
 主要用途：百貨店
 飲食店

歌舞伎座（銀座四丁目12地区）



■諸元

敷地面積：約6,790㎡
 しゅん工：2013年
 主要用途：劇場
 交流施設
 事務所

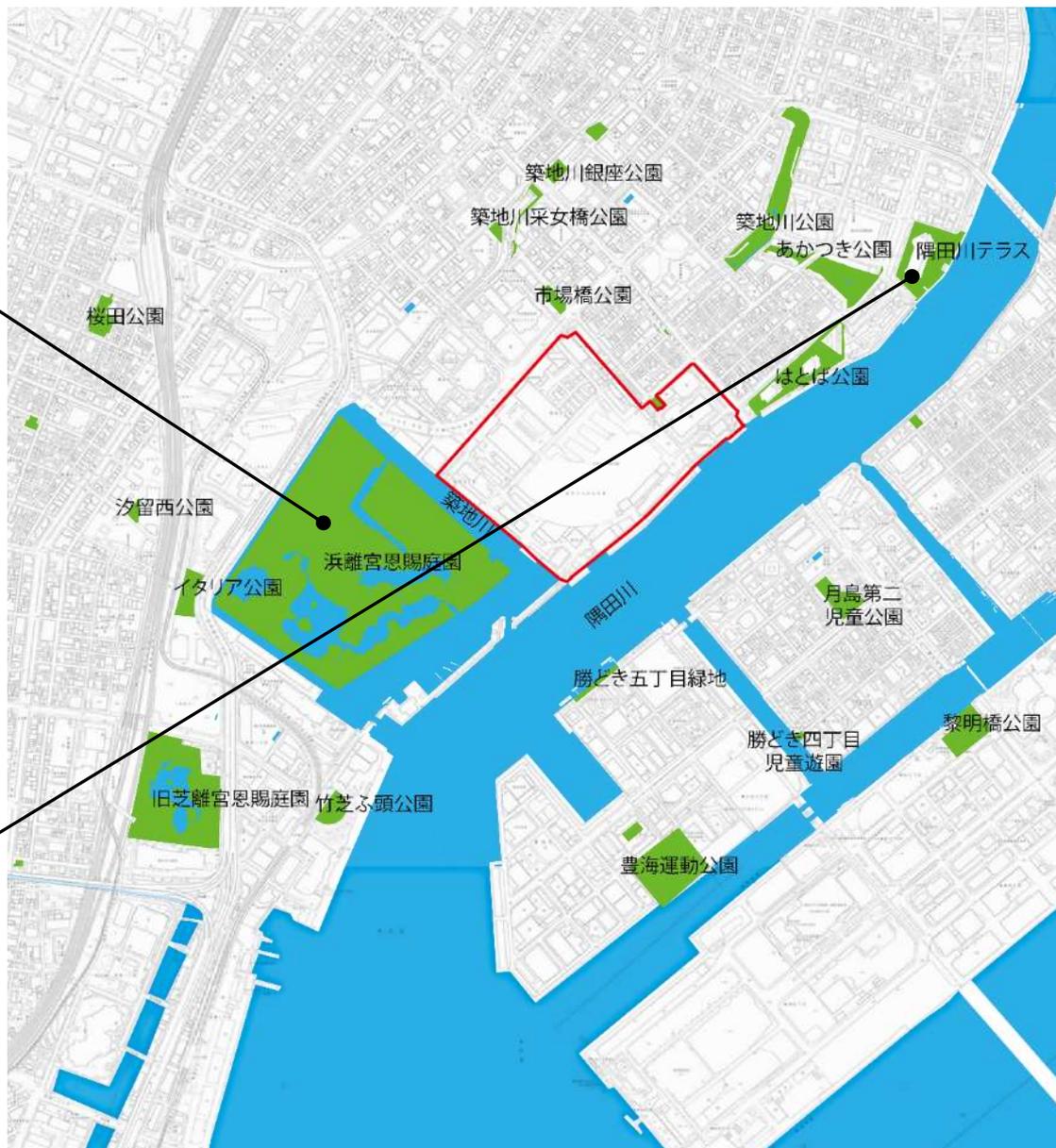


○緑地・公園・水辺のオープンスペース

＜浜離宮恩賜庭園＞



＜隅田川テラス＞

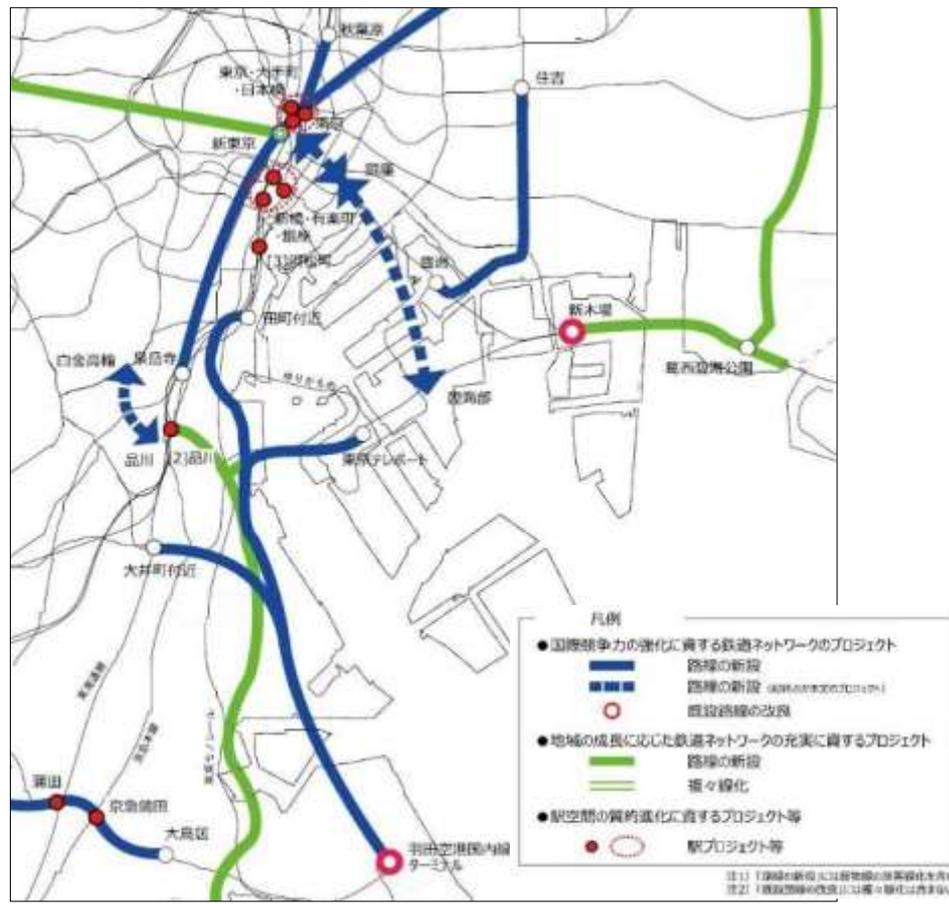


…都立庭園、区立公園等

交通アクセス（鉄道）（第1回検討会議資料）

○近隣に、大江戸線「築地市場駅」、東京メトロ日比谷線「築地駅」、都営地下鉄浅草線、東京メトロ日比谷線「東銀座駅」等が位置

◇平成28年度の乗降客数は、「築地市場駅」3万3千人/日、「築地駅」7万6千人/日、「東銀座駅」17万人/日（浅草線, 日比谷線合計） ※JR新宿駅 77万人/日



交通アクセス（道路）（第1回検討会議資料一部修正）

○環状2号線や首都高晴海線の整備効果として、臨海部と都心部を結ぶ交通・物流ネットワークの強化や、地域交通の円滑化などが期待されている

道路ネットワーク



環状第2号線地上部道路イメージ（平成32年夏）



※道路線形や構造は今後検討
 ※黄破線部の暫定迂回道路については、市場移転の完了後、速やかに開通

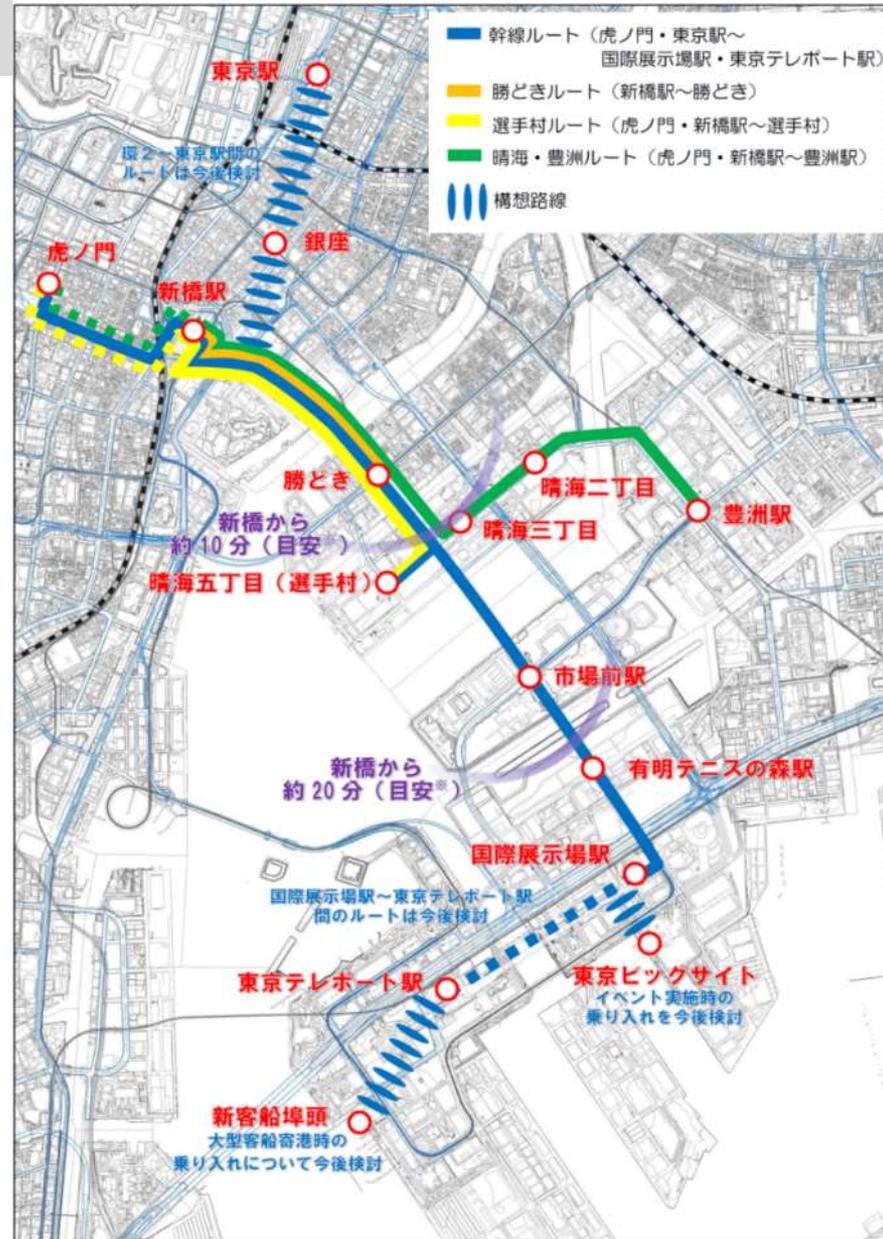
臨海部の交通（BRT） （第1回検討会議資料）

○都心と臨海副都心とを結ぶBRTは、環状2号線沿道地域の交通需要の増加に対応し、地域の発展を支える交通機関として計画している

連節バスイメージ



BRTルート図 （選手村再開発後：4系統の運行）



隅田川（舟運）（第1回検討会議資料一部修正）

○東京2020大会に向けて、舟運を活性化させて、水辺の魅力を引き出し、「水の都・東京」にふさわしい観光・交通手段として定着させることを目指す

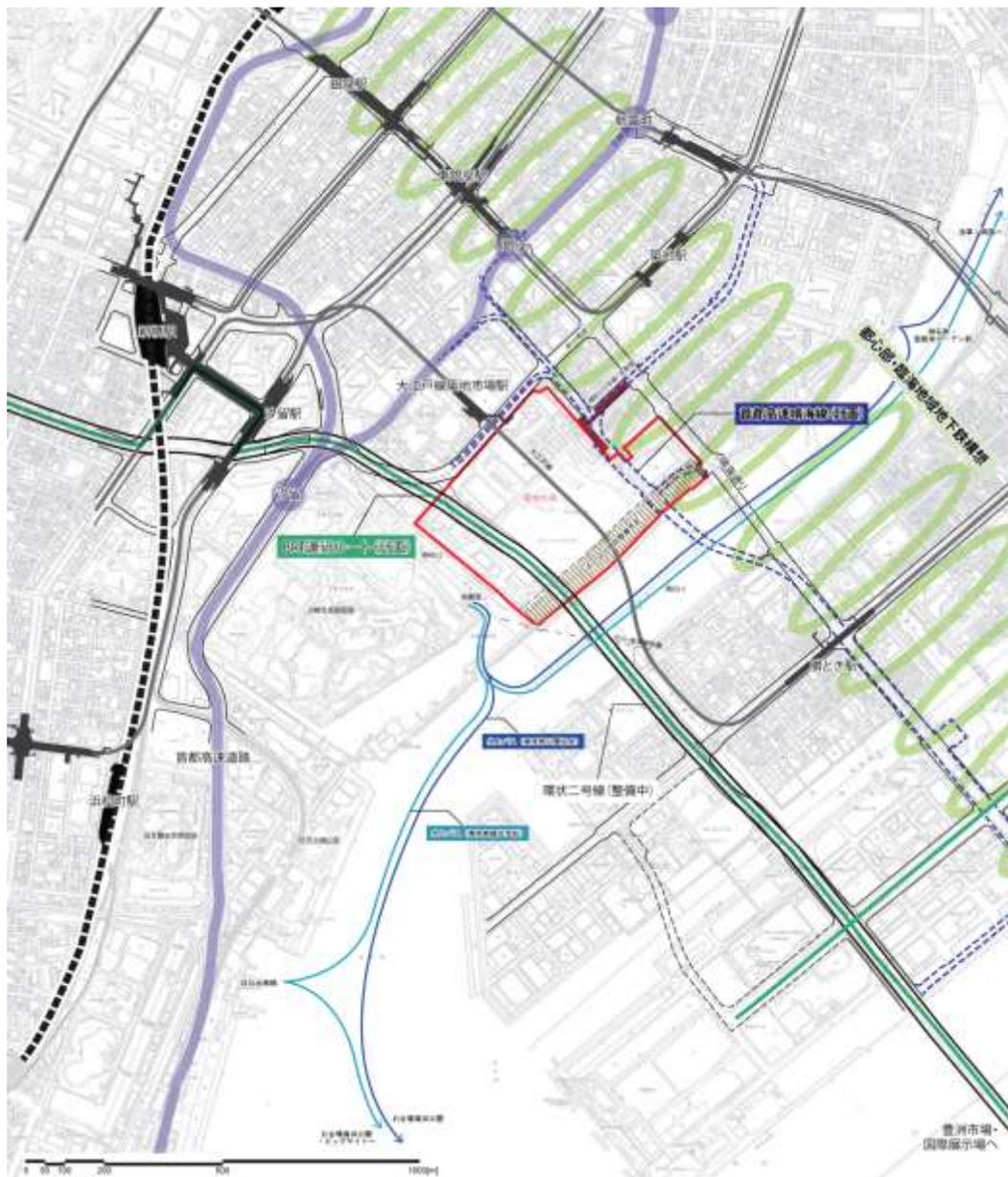
一般旅客定期航路



H29年度舟運社会実験全体航路図



○交通インフラ（既存・計画）



(既存)

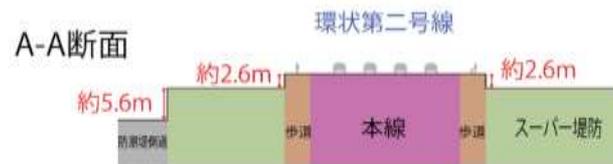
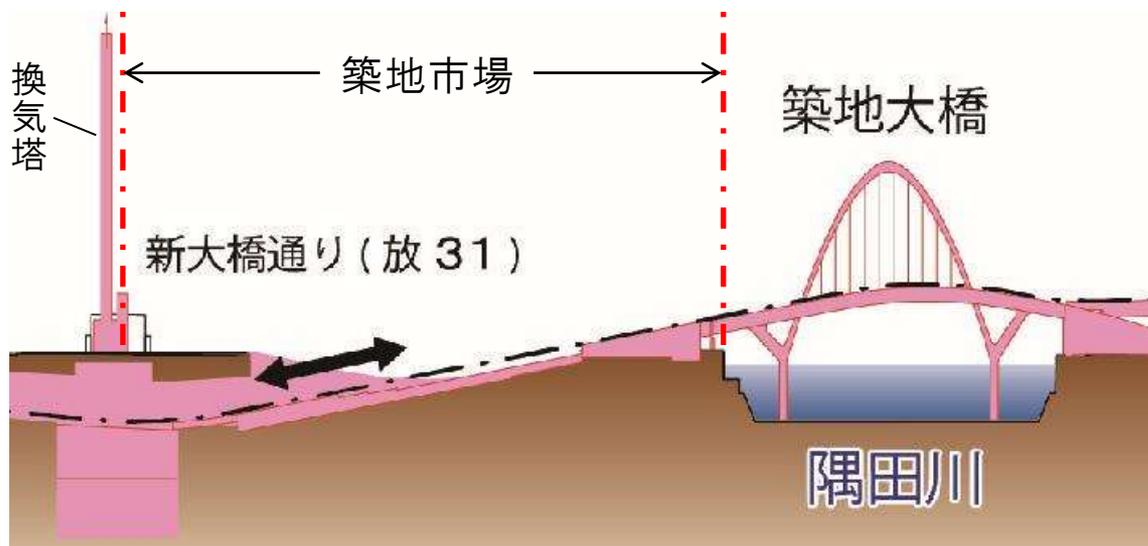
-  首都高速道路
-  JR
-  地下鉄
-  水上バスルート

(計画・構想)

-  都心部・臨海地域地下鉄構想
-  BRT運行ルート(計画)
-  首都高晴海線(H5都市計画決定済み)

○環状第2号線

□環状第2号線断面イメージ



(イメージのため実際と異なる可能性があります)

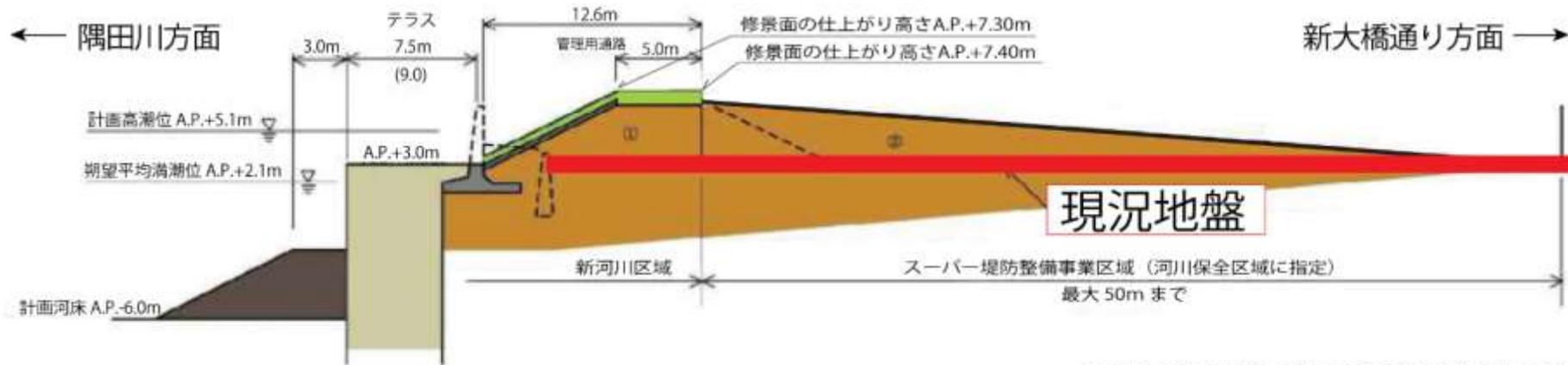


写真①



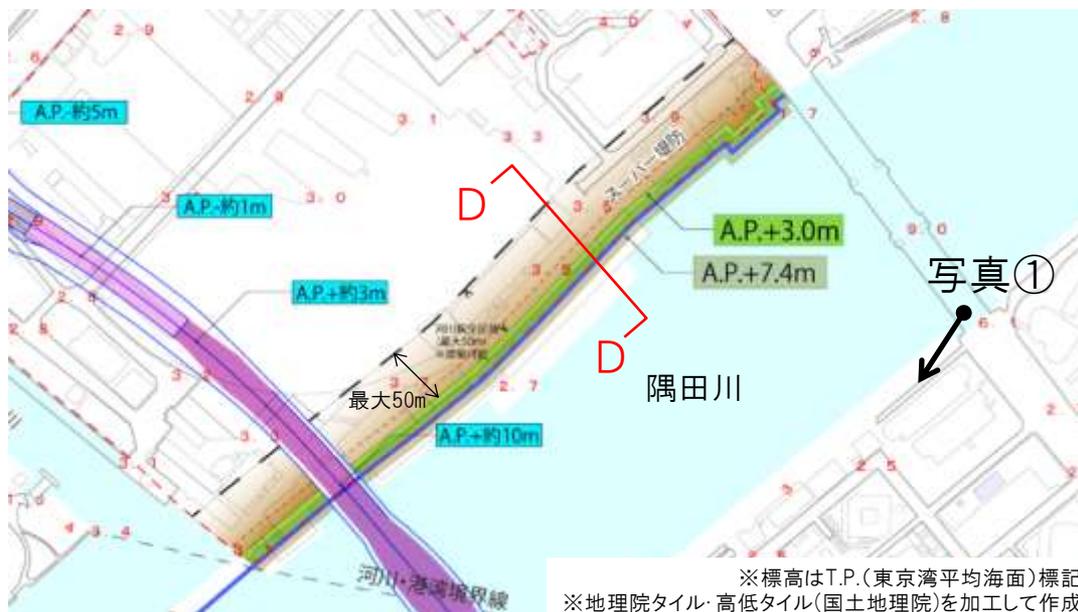
○スーパー堤防

□隅田川スーパー堤防の基本断面図 (D-D断面を想定)



出典：東京都HP

(基本断面のため実際と異なる可能性があります)

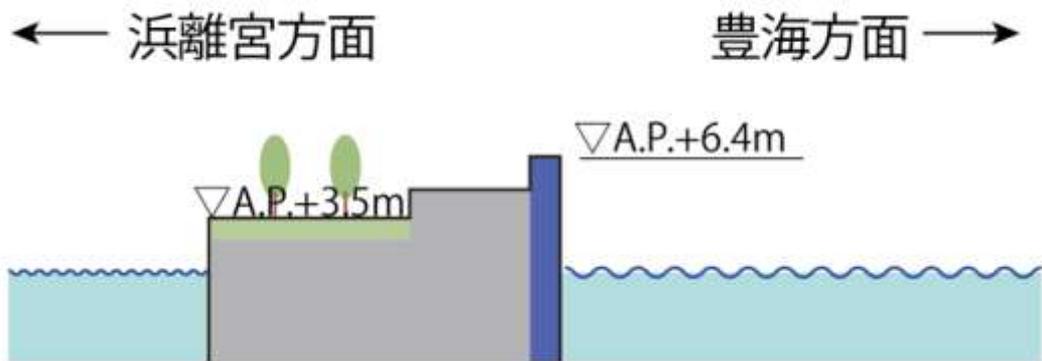


※標高はT.P.(東京湾平均海面)標記
※地理院タイル・高低タイル(国土地理院)を加工して作成

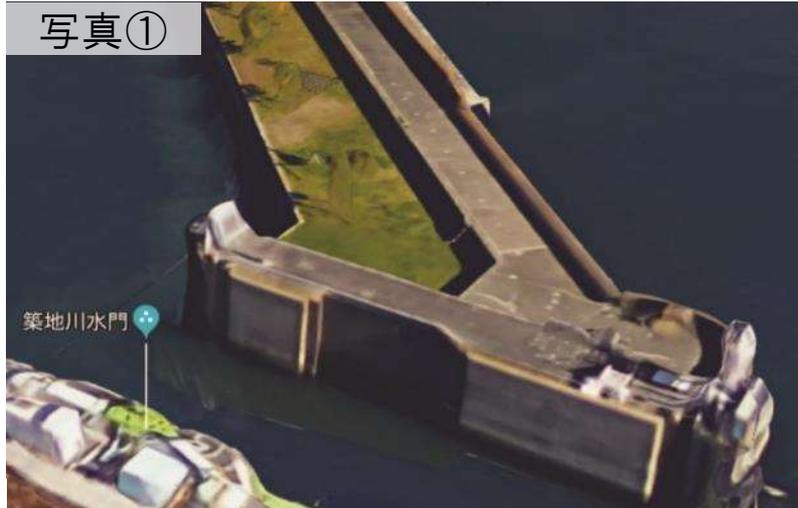


○防潮堤

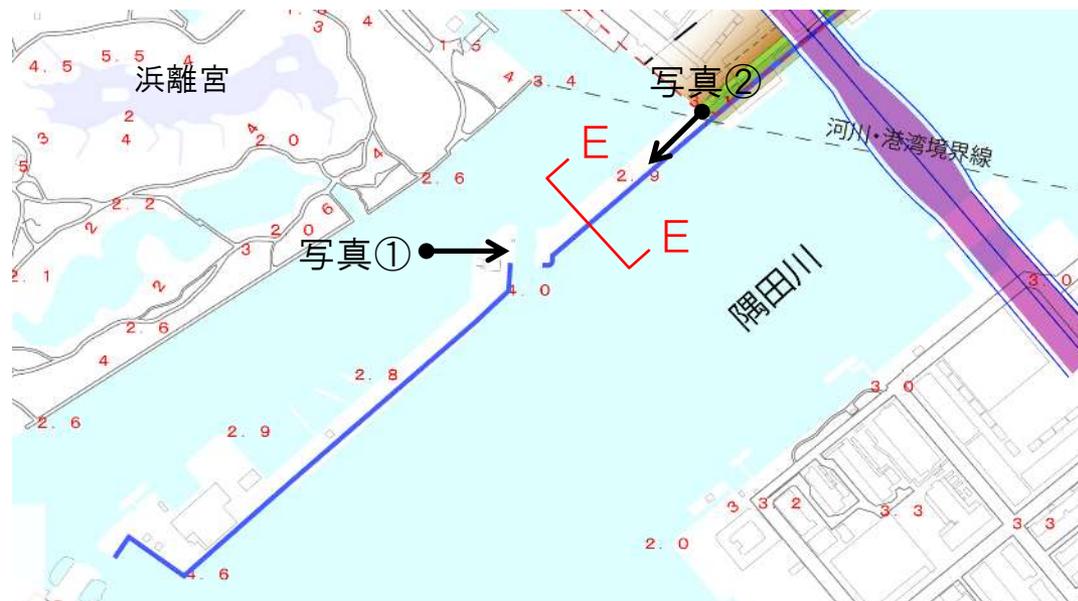
□浜離宮前防潮堤断面イメージ（E-E断面）



(イメージのため実際と異なる可能性があります)



出典：画像©2018 Google、地図データ©2018 ZENRIN (Google Mapより)



※標高はT.P.(東京湾平均海面)標記
※地理院タイル・高低タイル(国土地理院)を加工して作成



○セイムスケール事例

■人が集まる施設

＜築地市場＞



出典：画像©2018 Google、地図データ©2018 Google、ZENRIN

＜東京ドーム＞



出典：画像©2018 Google、地図データ©2018 Google、ZENRIN

＜マリーナベイ・サイフズ（シンガポール）＞



出典：画像©2018 DigitalGlobe、DigitalGlobe、CNES/Airbus
地図データ©2018 Google、Urban Redevelopment Authority

＜東京ビッグサイト＞



出典：画像©2018 Google、地図データ©2018 Google、ZENRIN

＜グランパレ（パリ）＞



出典：画像©2018 Google、地図データ©2018 Google

○セイムスケール事例

■オープンスペース

＜日比谷公園＞



出典：画像©2018 Google、地図データ©2018 Google、ZENRIN

＜ブライアントパーク(ニューヨーク)＞



出典：画像©2018 Google、地図データ©2018 Google

■開発

＜東京ミッドタウン＞



出典：画像©2018 Google、地図データ©2018 Google、ZENRIN

＜都庁＞



出典：画像©2018 Google、地図データ©2018 Google、ZENRIN

○セイムスケール事例

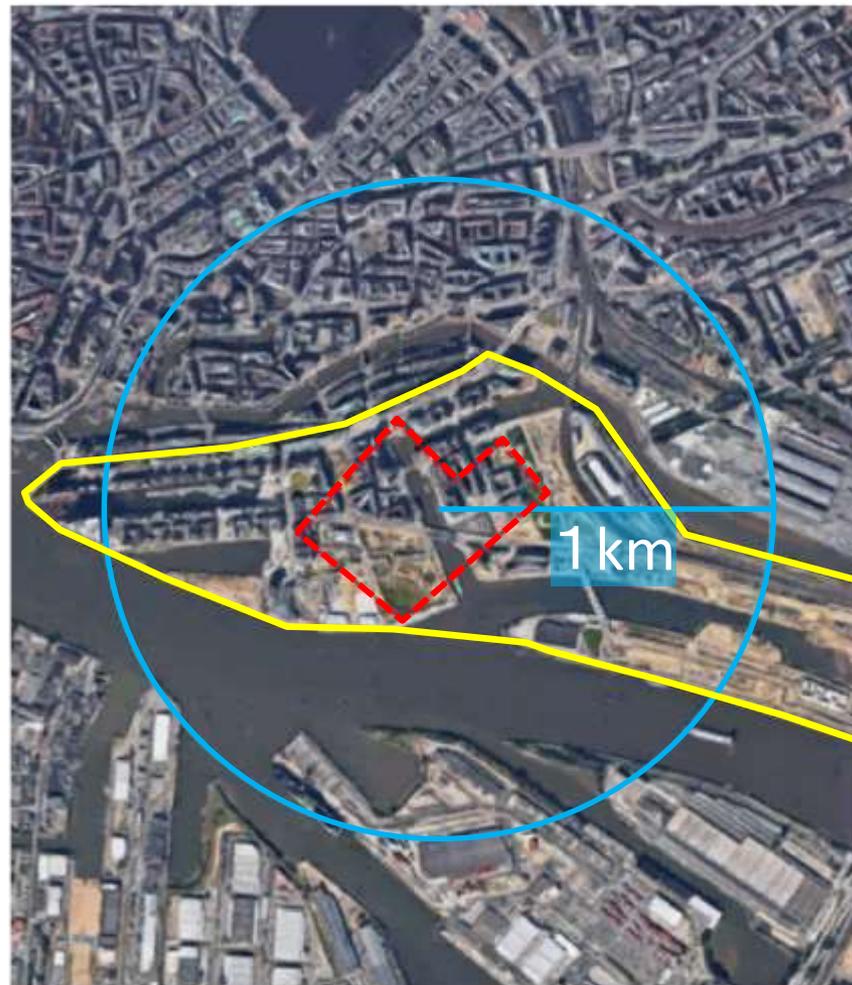
■周辺地域事例

＜築地周辺地域＞



出典：画像©2018 Google、地図データ©2018 Google、ZENRIN

＜ハーフェンシティ（ドイツ）＞

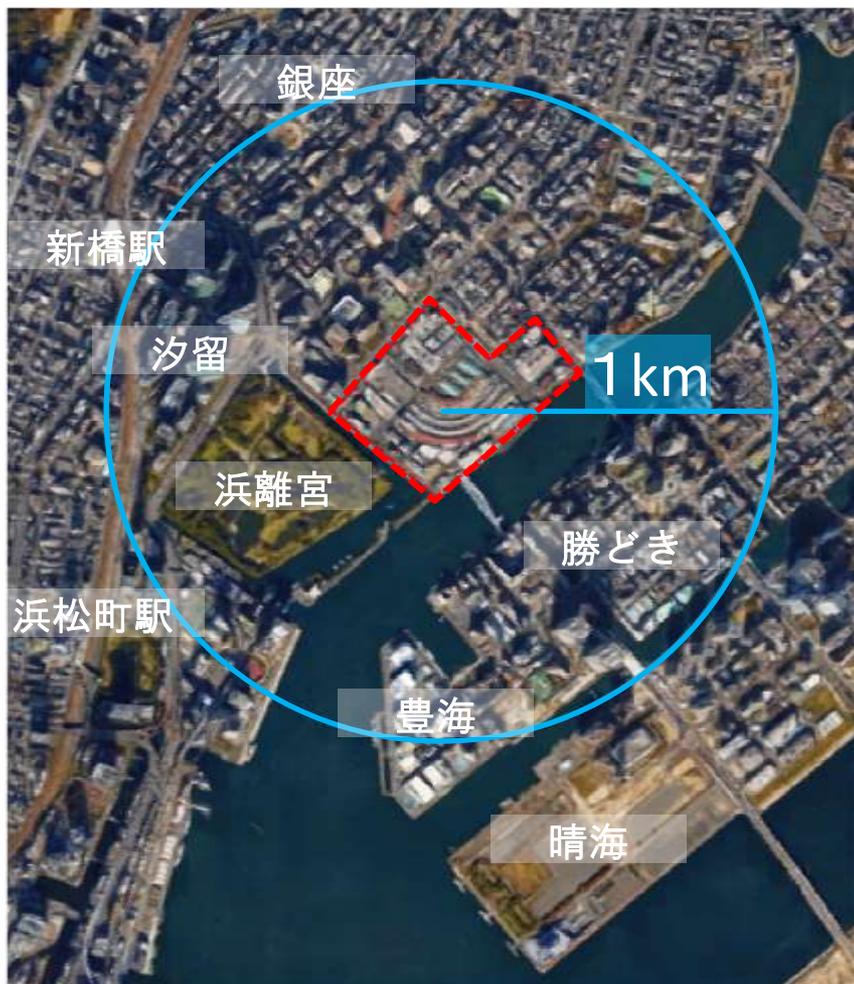


出典：画像©2018 Google、地図データ©2018 GeoBasis-DE/BKG(©2009)、Google

○セイムスケール事例

■周辺地域事例

＜築地周辺地域＞



出典：画像©2018 Google、地図データ©2018 Google、ZENRIN

＜みなとみらい21（横浜）＞



出典：画像©2018 Google、地図データ©2018 Google、ZENRIN